

歴史と文化がおる佐々町をみんなで

日本共産党

「合併協」ノー
町民の勇氣ある審判を
尊重して頑張ります

「合併を急ぐべきではない」「生まれ育ったこの佐々町を残したい」と、「合併協議会」設置を求める住民投票は、ノーの審判を下しました。日本共産党はこの町民の勇氣ある審判を尊重して、みなさんごいっしょに佐々町の発展のために尽くします。

中核市めざす佐世保市の都合よりも、
すぐれた佐々町の福祉を守ろう

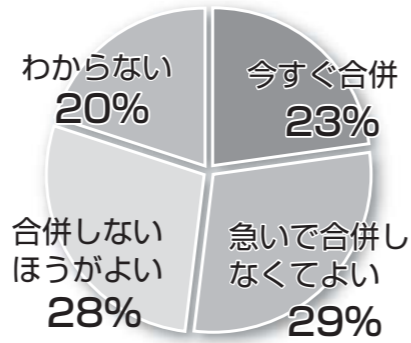


自然豊かな佐々川

「この合併は、佐世保市の都合ばかりが目立つね」などと、中核市（人口30万人以上）をめざす佐世保市の都合による合併に、疑問の声が出されています。佐々町には佐世保市にならなかった住民サービスがたくさんあります。とくに福祉や子育てや高齢者へのサービスは、手厚くされています。

	佐々町	佐世保市
産金 祝い	第1子 3万円 第2子 5万円 第3子 7万円	第3子 2万円
老金 祝い	75歳以上 3000円 80歳以上 5000円 100歳以上 8万円	99歳以上 5万円
ガン検診	0円	検診種別によって 0円から3000円
福祉弁当 の配達	全国に先駆けて 365日	

「合併の見直しを」の声が大きくなっています



「合併を押し付けるのではなく、活力ある市や町にしていくためにも、今一度合併効果の検証が必要だ」（長崎新聞4月25日付）と、合併の見直しの声が大きく広がっています。

日本共産党が3月に行った町民アンケートでは、「合併を急ぐべきではない」「合併すべきではない」が「今すぐ合併」を大きく上回っていました。（上のグラフ）

鳩山邦夫総務大臣は合併問題について、「地域の特色がなくなり、これ以上の合併はどうかと思う」「行政が効率化部分もあるが、地域の文化を壊してきた要素もある」と（1月31日の宇都宮市）話しています。

先輩たちがつくり育ててきた佐々町
—— 単独でも佐々町はやっていけます

山紫水明で豊かな自然に恵まれ文化がおる佐々町。「先人の遺業に学び、その足跡を振り返って生活に活かしていくことは意義深い」と、佐々町郷土誌は述べています。この佐々町は単独でもりっぱにやっています。

財政力も全国水準です

町の財政力の度合いを示す財政力指数は0・42。全国の類似団体・70団体のなかで41番目です。（平成19年度決算。県のホームページより）

小値賀町をはじめ全国には「小さくても輝く自治体を」と頑張っている町が802、村が192あり、これは全市町村の56%です（2009年5月1日現在）。財政力に応じた行政運営を行っていけば、十分に単独でやっていけます。

「合併してよかことは何もなかった」と吉井町や小佐々町の人たちの声が聞こえてきます。「佐々町でよかった」と言える町を、みんなで作っていきましょう。